

県内唯一の社会派情報誌

2004年 第15巻第5号通巻133号
1994年1月21日第三種郵便物認可

月刊タクティクス

東北文化学園大学

「薬学部」誘致は、やはり失敗!

市長選をにらんだ? 藤森市長の判断は性急すぎた!!

「大学側が悪い!」では済まされない藤森市長の政治責任!!

県内初の「薬学部」開設断念の余波

大高・商議所会頭が電話をかけまくったワケは!? 宅建業協会郡山支部総会大荒れの真相!?

室井・県出納長の
学歴問題は、これでいいのか?

「中央大学法学部卒」に陰の声も...

喜多方で起きた中学校教員による
女子生徒強姦事件のその後 **完結編**

本誌の予告通り逮捕者を出した買春事件!

積水ハウスの脱税疑惑に 仙台国税局も重大な関心!

明らかになる第一エージェンシーとの長く深い癒着の構図

北塩原村企画政策課長 失踪の真相!

その陰に「ワンマン村長?」の周囲を
無視した「自立宣言」があった!?

佐藤知事、五選出馬へ 有識者の反発!

一体、五期目で何をやるのか!?
見えないビジョン!

幸楽苑問題

<第9弾>

社長交代は、本誌糾弾から
逃れるための一手だった!?

この陣容で滝谷は、果たして再建できる
のか!?

自殺未遂! 国見町前助役に何が起こったのか?
町長のいじめ? 女性問題? 警察の取り調べ?

何故、猪苗代は「東信の町」と言われるのか!?
会社設立二ヵ月で町の四千万円の仕事を落した怪!?

均衡を失っていた相双信用組合職員
の使い込み事件に対する処分

INTERVIEW
インタビュー



奥土木部長
星見修平氏

THE MAYOR
ザ・メイヤー



檜草町
草野 幸司氏

FILE
人物ファイル



樺會町
藤田幸治氏

SPOT
スポット



檜枝岐村
星 好久氏

緊急
レポート

積水ハウスの脱税疑惑に 仙台国税局が重大な関心!!

「積水ハウスには魔物が住んでいるのか」に離職率が高まっていることを危惧し、DTEと題して社員の前次々自殺に端を築いて始まった本連載は、顧客獲得の主力とも言える工場見学会というバスターの経費の取り扱いを巡る脱税疑惑に発展した。

もし、本誌に寄せられている情報が真実ならば大変な事態が起きる可能性もあり、今、仙台国税局が本編記事に重大な関心を示していることが伝えられてきている。そんな時、内部からは和田勇社長が全国的

脱税疑惑に国税も 重大な関心

前号末尾に積水ハウス東北営業本部長の阿部俊則氏(五二)の語った脱税行為と思われる手法を記したが、年商一兆数千億

められずに、真実の究明に取り組み全容を詳らかにして頂きたいものである。ここで言う前号で記した脱税行為とは、積水ハウスの営業で最も重要な位置付けがされていると言われる見込み客をより確実な顧客とするための「工場見学会」なるバスターで、ここで

行われたいという税制面の不法行為のことである。ただ単に、営業マンたちがその活動の中で発掘してきた見込み客たちを、建築工法や素材に対する理解をより深めるために

返されてきた行為だとして、われら、是非、重大な関心に停

積水ハウスは一部上場企業であり、資本金は一千八百六十五億円である。法人税の租税特別措置法の規定によれば、資本金が一億円を超える企業の接待交際費は全額が経費とならず、反対に約四十二%の税金が掛かるとされている。不況下の現在、接待交際費はどの企業でも抑える傾向にある筈で、多分、積水ハウス東北営業本部管内でも多間に漏れず、交際費の節減は大きな課題となっている事だろう。

接待交際費より 広告費として計 上

これは推測ではあるが、税金が課せられる接待交際費よりは、経費として認められる宣伝広告費で計上する事を目論んだのではなかろうか、ということである。

前号を読んだあるマスコミ関係者が「私は積水の阿部さんという方は存じ上げないが、第一エージェンシーの石田武彦社長

円を誇る一部上場企業がこの行為に、仙台国税局の関係者が重大な関心を持った、ということ

が伝えられてきた。国税当局者の中には本誌のような月刊誌からの情報を嫌う担当官もいると聞くが、明らかに脱税、それも長年に亘って繰り返されてきた行為だとして、

に離職率が高まっていることを危惧し、DTEと題して社員の前次々自殺に端を築いて始まった本連載は、顧客獲得の主力とも言える工場見学会というバスターの経費の取り扱いを巡る脱税疑惑に発展した。

もし、本誌に寄せられている情報が真実ならば大変な事態が起きる可能性もあり、今、仙台国税局が本編記事に重大な関心を示していることが伝えられてきている。そんな時、内部からは和田勇社長が全国的

円を誇る一部上場企業がこの行為に、仙台国税局の関係者が重大な関心を持った、ということ

が伝えられてきた。国税当局者の中には本誌のような月刊誌からの情報を嫌う担当官もいると聞くが、明らかに脱税、それも長年に亘って繰り返されてきた行為だとして、

行われたいという税制面の不法行為のことである。ただ単に、営業マンたちがその活動の中で発掘してきた見込み客たちを、建築工法や素材に対する理解をより深めるために

行われたいという税制面の不法行為のことである。ただ単に、営業マンたちがその活動の中で発掘してきた見込み客たちを、建築工法や素材に対する理解をより深めるために

返されてきた行為だとして、われら、是非、重大な関心に停

積水ハウスは一部上場企業であり、資本金は一千八百六十五億円である。法人税の租税特別措置法の規定によれば、資本金が一億円を超える企業の接待交際費は全額が経費とならず、反対に約四十二%の税金が掛かるとされている。不況下の現在、接待交際費はどの企業でも抑える傾向にある筈で、多分、積水ハウス東北営業本部管内でも多間に漏れず、交際費の節減は大きな課題となっている事だろう。

接待交際費より 広告費として計 上

これは推測ではあるが、税金が課せられる接待交際費よりは、経費として認められる宣伝広告費で計上する事を目論んだのではなかろうか、ということである。

前号を読んだあるマスコミ関係者が「私は積水の阿部さんという方は存じ上げないが、第一エージェンシーの石田武彦社長

明らかになる第一エージェンシーと癒着の構図

であるなら、このような手法を取ることは十分考えられる事ですね」と語っており、第一エージェンシーには、そのような事を平気でやる体質があるのだという。

また、現在、積水ハウス東北営業本部管内の主要部分の宣伝広告を引き受けているといわれる第一エージェンシーであるが、阿部本部長に代わる前の現九州営業本部長である乗富真則前東北本部長時代の深い結び付きがあるといわれている。阿部本部長が第一エージェンシーを重要するのも乗富前本部長から



あまりの離職率の高さに頭を痛める 和田 勇 社長

の申し送りがあったからだ、という内部からの話もある。

もし、この両者の関係が長く深いものであったとしたなら、脱税行為かどうかの判断は難しいが、何らかの癒着といえる関係があった可能性は高い、と言わざるを得ない。是非、国税当局の英断に期待したいものだ。

部下が亡くなる度に出世をする阿部本部長

前号までのテーマは積水ハウスで自殺者が相次いでいる事から、その陰には一体何があるのか、と言う事だった。これは二度に亘って書き記した事だから読者諸兄にはご理解を得られた事だと思いが、一口で言うと、その営業ノルマに店長や課長と

言った責任ある立場の人たちが逃れられなくなって死を選択した、と言う事ようである。

責任の比較的軽い末端の営業マン達は、厳しいノルマを押し付けられると退職という道を選択してしまうようで、その離職率の高さがその答えとして雄弁に物語っている。

前号で記したように自殺したT・K店長も部下の離職率の高さに頭をいためていたと言われ、全国的にも積水ハウスの離職率が高まりにも高いため大阪本社と和田勇社長も今年二月、全国の社員に呼びかける内容のビデオテープを作成していた事が、これも内部から伝えられていた。ハウスメーカー第一位の売上実績を誇る大企業であっても、それほどまでに厳しい、と言う事なのだろう。

本誌の記事を読んで地団駄を踏んだと言われる阿部本部長は、またまた出世をして執行役員となったと言われるが、部下が亡くなる度に役職が上がっていくという変わった経歴の持ち主のようだ。だからこそ、新進のジャズピアニストとの親交なども深める事が出来るのだろう。

積水ハウスの社内では、誰が情報を漏らしているのだろうと、犯人探しが行われていると聞くが、そのような疑心暗鬼になり社員同士を疑いあう事になるのなら、堂々と本誌の取材を受ければよいのではないか、と思うのだが…。もっとも、取材拒否をされてからは再取材で積水側を訪ねてはいないが、事実を隠せば事が済む、と思っっている企業のようにある。

本誌には、今回の脱税疑惑に関連して積水ハウスが行った全く別の組織を巻き込んだ違法行為の実態が情報として寄せられている。これは次号以下で明らかにしていくつもりだが、実身のない犯人探しなどをやる暇があるのなら、もっと大企業としての襟を正す事が大切な事ではないのかと思われるが、いかがだろうか。次号、積水ハウス問題特大号に続く。

新たな違法行為疑惑が発覚!?



部下が亡くなる度に出世することで関心を集める阿部俊則 本部長